

# 竹取物語新聞

第 109 号 2015 年 4 月号  
発行：NPO 法人森林ボランティア  
竹 取 物 語 の 会

## お茶の木を移植。今回は根付いた！？

2013 年の夏、大雨で茶畑が流されました。翌年の 3 月に復旧工事完了。その年 3 月末に、お茶の苗木を購入して植えました。マルチもして、雑草の駆除対策も行いましたが、根付きが悪く、ほとんどが枯れてしまいました。今年の 3 月末に竹林と雑木林の中のお茶の木を掘り出し、移植しました。活動地内には竹を伐採した跡にはお茶の木が実生から沢山育っています。竹林と雑木林の整備が進むと茶畑が拡大し

ていきます。

このお茶の木は、穂谷の人たちが自家用に植えられたものだと思います。朝市のおばさんはお茶を「ほいろ」（焙炉）で乾燥させたとお話をされていました。枚方市穂谷のお隣の京都府京田辺市は玉露の産地です。5 月 17 日（日）枚方市野外活動センターでお茶摘み体験を行います。（市山二郎）

## 山笑う！コナラの芽吹きが美しい

4 月の穂谷の山。ウグイスの声が聞こえ、サクラの花びらが風に乗って舞い、木々の萌葱色の新芽が光に輝いて……。山は今、笑っています。コナラは雑木林でよく見る、身近な落葉樹です。春のこの時期、葉の裏が白っぽいので、少し霞みがかかった淡い色合いが趣を添えます。夏には葉を茂らせ、秋には赤く色づき、冬は直

立する裸木となり、四季を通して楽しめます。実は「どんぐり」と呼ばれる堅果です。これから花が咲きますが、花序が垂れ下がる姿からどんぐりが実るのが不思議でなりません。雑木林の持つ価値が近年改めて認識されています。

（高橋悦子）